

News Release

2022年2月21日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2022 年 1 月 27 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF の Ultradur[®]により、高速データ転送ができる小型のコネクターシステムを実現

- Ultradur[®]を使用したコネクターシステムで、最大 60%の省スペースを実現
- 車載用電子機器でのデータ転送を高速化

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、MD ELEKTRONIK 社(エムディーエレクトロニク、本社:ドイツ)が、Ultradur[®](ウルトラデュアー)を使用した、高速データ転送が可能な小型のコネクターシステムを新しく開発したことを発表しました。

自動車は進化を続けており、パワートレインの代替や自動運転、持続可能性に対する要望が、自動車のデザインと運転方法に影響を与えています。特に内装はユニークな変貌を遂げており、自動車はモバイルオフィスやリビングルームに変わりつつあります。インストルメントパネルなどのアプリケーションは、テレビ会議用の画面を備えたエンターテインメントユニットへと変化しています。また、電子機器の高機能化に伴ってより高速なデータ転送が求められ、デバイスの高性能化と、電子部品や材料への要求が非常に高くなっています。さらに、省スペース化のために、軽量化と部品の小型化も求められています。

MD ELEKTRONIK は、こうした課題に取り組み、BASF のプラスチック技術に関する技術サポートを受けて、USB Type-C 規格に基づく新しいコネクターシステム「C-KLIC」(シークリック)の開発に成功しました。Ultradur[®] B 4300 G4 には、ガラス繊維強化

お問い合わせ:
BASF ジャパン株式会社
コミュニケーションズ部
西村 千恵
TEL: 03-5290-2515
chie.nishimura@basf.com

BASF ジャパン株式会社
住所: 〒103-0022
東京都中央区日本橋室町 3-4-4
OVOL 日本橋ビル 3階
TEL: 03-5290-3000
FAX: 03-5290-3333
<https://www.basf.com/jp>

ポリブチレンテレフタレート (PBT) が使用されており、高い要求特性を満たしているため、プロジェクトの成功に繋がりました。この技術革新は車載用途に最適であり、その優れた材料特性により、一般的な USB ポートに比べ最大 60% の省スペースを実現します。さらに、10GB/s を超えるデータ転送速度と、USB Power Delivery の規格にも対応可能です。

成功の要因－信頼できるパートナーシップ

「両社の良好なパートナーシップが成功の鍵でした。私たちの目標は、一種類の理想的な材料から、コネクタシステムに使われる様々な部品をできるだけ多く製造することでした。生産工程の簡素化でより効率的に、また生産材料の変更を減らすことで生産の持続可能性にも貢献します。BASF の幅広い製品ポートフォリオのおかげで、様々な可能性を見出すことができました」と、MD ELEKTRONIK のテクノポリマーエキスパート、Markus Kaaserer (マーカス・カーゼラー) 氏と、開発ディレクター、Johannes Trä (ヨハネス・トラ) 氏は述べています。

Ultradur® は、その優れた材料特性により、CPA (Connector Position Assurance、コネクタ位置保証) エlement、コーディング仕様のコネクタハウジング、また、オーバーモールドが必要とされるコネクタに使用されています。特にコネクタの内部部品では PBT (ポリブチレン・テレフタレート) の特性が発揮され、電気特性と寸法安定性により繊細な電子部品を湿度や汚れなどの外部影響から保護します。一般的な USB 充電モジュールと比較して、この新しいコネクタシステムはより小さく製造でき、設置スペースと重量も削減します。

「この新しいコネクタシステムは、車内がインフォテインメント (情報 + 娯楽) にシフトしていることの現れであり、現在使用されているシステムよりも遥かに大きなデータ転送を可能にします。自動車に搭載される高性能電子デバイスの需要がますます高まる中、私たちは専門知識を活かし、新たな開発を強かにサポートします」と、BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業部 グローバルキーアカウントマネージャー、ベルント・スクーピンは述べています。

「さらに Ultradur® は、非常に優れた寸法安定性と低吸湿性により、車内環境に関わらず、厳しい公差を保つという重要な点を満たしています」と、BASF の技術開発シニアスペシャリスト、ヴォルカー・ザイハーは述べています。

この車載コネクタの設計は、未来の車両コンセプトに対する理想的なソリューションであり、動くリビングルームを実現する新たな一歩となります。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部について

BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、材料のノウハウを一つに融合し、革新的でカスタマイズされたプラスチック関連製品とサービスを提供します。本事業部はトランスポーター、建築・建設、インダストリアルアプリケーション、消費財という 4 つの主要産業部門で世界的に事業を展開しており、強力な製品・サービスポートフォリオを備え、アプリケーション志向のシステムソリューションを深く理解しています。収益性と成長を促進させている主な要素は、お客様との緊密な連携と、明確なソリューション重視の姿勢です。研究開発の点でも高い能力を有しており、それが革新的な製品やアプリケーションを開発する基盤となっています。2020 年、パフォーマンスマテリアルズ事業本部は、世界で 56.3 億ユーロの売上高を達成しました。詳細に関しては、www.plastics.basf.com をご覧ください。

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の 3 つを同時に果たしています。また、全世界で 110,000 人以上の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション&ケア、アグロソリューション)から成ります。2020 年の BASF の売上高は 590 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所 (BAS) に上場しているほか、米国預託証券 (BASFY) として取引されています。BASF の詳しい情報は、<http://www.basf.com> をご覧ください。